

献血の同意説明書「4. 血液の有効利用について」の説明

1. はじめに

献血血液（検査用検体の残りや検査により不適合となった血液など）を研究に使用することで、①血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上のほかに、②病気の診断・治療法の開発が促進され国民の健康状態の改善などに役立つ可能性があります。

そのため、献血血液を研究に使用することへのご理解をお願いしています。

2. 対象となる研究について

①血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上を目的とした研究のほかに、
②病気の診断・治療や国民の健康状態の改善（国の公衆衛生の向上）を目的として
行われる研究で、かつ献血血液を使用しないと実施が難しい研究が対象です。さらに
外部の研究機関などから「献血血液等の研究開発等への使用に関する公募」により申
請され、日本赤十字社で承認された研究に限られます。これらの研究のために献血血
液が外部研究機関などへ提供される際は、氏名や住所などの情報は切り離し、個人が
特定できないようにします。

外部研究機関で実施される①の研究課題と研究内容が多岐にわたる②の研究課題を裏面に記載しました。なお、研究の内容により遺伝子を解析することがあります。

3. あなたの利益・不利益について

研究に使用する献血血液は、上記2のように、氏名や住所など個人を特定できる情報と切り離して使用するため、あなたに不利益はありません。また、個人的に受ける利益もありません。

4. 同意と撤回について

献血血液を研究に使用することは、あなたの自由意思による同意に基づきます。同意をしないからといってあなたの不利益になることはありません。

また、同意は、献血血液が研究に使用される前であれば撤回することができます。ただし、早ければ、採血翌日に使用される場合があります。

同意の撤回を希望される場合は、下記の連絡先までお電話をお願いします。

ご不明な点がございましたら、受付の職員にお申し出ください。

電話番号

無料 ○○○○-○○-○○○○

この電話は 24 時間対応の受信専用録音電話です。
プッシュボタンによる採血番号等の入力はできません。

同意を撤回するためには、採血番号と生年月日の両方が必要です。
あなたの声でお知らせください。

※採血番号については、献血時にお渡しするチラシ（右写真）の枠内に記載しております。

[illegible]

令和3年度実施の献血血液を使用する研究課題

研究課題（献血者説明用課題名）

- 1 【27J0003】 血液中の細胞に抗酸菌を感染させる実験から抗酸菌症の発症の仕組みを解明する
- 2 【28J0021】 血液型の基となる細胞表面の糖鎖の違いは免疫活性を変化させるかに関する研究調査
- 3 【28J0039】 ウイルス感染症に対する T 細胞応答の解析
- 4 【28J0040】 ヒト臍帯血血液幹細胞の増幅と血球系細胞への分化能に関する研究
- 5 【28J0046】 B 型肝炎発症の仕組みを解明する研究
- 6 【28J0052】 血液凝固を防ぐための血液分析
- 7 【28J0064】 抗 HTLV-1 ヒト免疫グロブリンによる HTLV-1 の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討
- 8 【29J0007】 白血球の中で最も少なく、研究が遅れている好塩基球の分離
- 9 【29J0011】 日本国内に移入される可能性のあるウイルスの高感度核酸検査法の開発
- 10 【29J0030】 ヘパトカインを標的とした診断薬・治療薬の開発
- 11 【29J0051】 血液中の免疫細胞を利用した、からだを守る仕組みの解明
- 12 【29J0056】 痛風・高尿酸血症リスクに関連する ABCG2 遺伝子の解析：Jra 抗原陰性者の解析による新規リスク変異の検討
- 13 【29J0061】 血液ポンプによる赤血球の壊れやすさを計測する試験
- 14 【30J0004】 関節リウマチにおける骨破壊を抑制する方法の検討
- 15 【30J0031】 新規 HTLV-1（ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型）抗体検出試薬の開発
- 16 【30J0040】 血液製剤の病原体不活化の研究と B 型・C 型肝炎ウイルスの培養系の開発
- 17 【30J0050】 癌における血液由来細胞の解析
- 18 【31J0003】 眼の炎症性疾患の予後予測と新規治療探索のための研究
- 19 【31J0005】 Medical gas による血小板保存法の開発
- 20 【31J0008】 A 型および E 型肝炎ウイルスに対する抗体の作製
- 21 【31J0014】 副作用の少ない抗がん剤の開発—血液蛋白質への作用研究—
- 22 【31J0016】 血漿から濃縮した止血因子の有効な作製方法の確立
- 23 【31J0017】 ドローンで血液を運ぶ研究
- 24 【31J0020】 心筋梗塞や脳梗塞を診断できる血液検査法の開発
- 25 【31J0021】 微振動が血流特性に与える影響についての研究
- 26 【31J0025】 回路チューブ内の血液凝固を検出するセンサを開発する研究
- 27 【31J0030】 がん治療薬が引き起こす溶血性貧血のリスク要因の探索
- 28 【31J0032】 有効期限を超えた血小板製剤の新たな活用法の検討
- 29 【31J0035】 若年の B 型肝炎ウイルス陽性者においてワクチンが効きにくい B 型肝炎ウイルスの存在を検討する研究
- 30 【31J0041】 体外式膜型人工肺 (ECMO) の使用が人体に与える影響の検討
- 31 【R020001】 薬剤アレルギー等の原因特定のための迅速診断法の開発
- 32 【R020007】 iPS 細胞を用いた血小板製剤の開発
- 33 【R020008】 血液凝固反応を防止する技術の開発
- 34 【R020009】 ヒト濃縮多血小板血漿の不妊症マウスの子宮・卵巣投与による効果とその作用機序の解明
- 35 【R020017】 脳梗塞治療を目指すための骨髓由来単核球細胞分離装置の開発
- 36 【R020018】 新しいヒト免疫不全ウイルス制御法の開発研究
- 37 【R020019】 悪性腫瘍に対する養子免疫 T 細胞療法の開発研究
- 38 【R020020】 安全な感染症予防等が期待できるヒト免疫記憶細胞の体外での製造方法の開発
- 39 【R020023】 血液検査利便性向上のための血球分離方法の開発
- 40 【R020026】 糖尿病の体外診断用医薬品の開発研究
- 41 【R020027】 血液分析装置用試薬開発における性能評価及び検体間事例の抽出
- 42 【R020031】 大量出血した場合の止血機能の研究
- 43 【R030001】 血小板機能維持を重視した新たな自己血輸血法の検討
- 44 【R030002】 新型コロナウイルス感染症の理解のために、免疫系で抑制的に働く T 細胞を効果的に増やす方法を提案する
- 45 【R030006】 自己輸血を実施した前後で変化するバイオマーカーの検索
- 46 【R030007】 肺疾患に関わる免疫担当細胞の機能の解明
- 47 【R030010】 細い留置針を使った急速な輸血による血液中のカリウム濃度を測定する調査
- 48 【R030016】 アレルギーに関係する T リンパ球の分化経路の解明
- 49 【R030017】 献血用検査試薬の性能向上
- 50 【R030018】 HIV 検査試薬の開発
- 51 【R030019】 ヒトサイトメガロウイルス抗体検出試薬の開発
- 52 【R030020】 ヒトパルボウイルス検出試薬の開発
- 53 【R030024】 白血病を引き起こすウイルス (HTLV) 抗体の迅速検査法の開発および HTLV 検査の普及に向けた取り組み
- 54 【R030028】 医薬品を汚染する発熱性物質を血液で評価する方法の開発
- 55 【R030031】 炎症におけるリンパ球機能の解析
- 56 【R030033】 乳酸菌から抽出した薬の成分と血小板が反応したときにおこる機能の変化との関連性の検討
- 57 【R030036】 T 細胞および制御性 T 細胞の解析研究
- 58 【R030037】 糖鎖を認識するタンパク質であるガレクチン 9 に血小板凝集の阻害作用があるか？
- 59 【R030039】 ① ヒトが元々持っている抗体の解析② ヘルペスウイルス検出技術の開発
- 60 【R030045】 赤血球系細胞における新規マーカー蛋白質の同定
- 61 【R030047】 ヒト樹状細胞前駆細胞の同定と新規培養方法の樹立
- 62 【R030048】 血液中のリンパ球を用いた癌治療法の研究開発
- 63 【R030049】 血液中の代謝物を網羅的に検出・解析する技術の活用に関する基礎研究
- 64 【R030050】 様々な病気の診断、治療法の開発に結びつく新しい免疫検査法の開発研究

※年度単位での公開のため、まだ実施されていない、または終了している場合があります。

研究の内容をお知りになりたい方は下記ホームページでご確認いただくか、受付の職員にお申し出ください。

<http://www.jrc.or.jp/activity/blood/koubo/>